

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	自動発達支援サービスゆれる		
○保護者評価実施期間	2025年3月1日		~ 2026年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年3月1日		~ 2026年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもにとって失われていく遊び・教育での支援環境	人間中心であり、管理された環境での遊びや学習と ならないような空間・構造的環境整備を行っている。	ゆれるならではの環境で子どもたちがのびのび過ごすためには、地域との連携や安全の確保が重要となります。 そこに手を抜くことなく創造的な活動ができるように今後も環境づくりに尽力します。
2	児童福祉の施設、ではなく、集落の中で生きる子どもたちとして地域に馴染んだ暮らしを送れるところ	日々の活動の中で、地域の役立つことを子どもたちの大事な仕事として位置づけています。	人に頼られたり、喜ばれることは子どもたちの大きな成長につながると考えています。地域の皆さんとの繋がりにおいて、ゆれるが大切に思われるよう行事や集いに積極的に参加する事業所であろうと考えています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	既に同集落や周辺の地域の連携はなされ、その点においては 大変評価をいただいているが、他の保育所や幼稚園などの 連携や交流はない	児童発達支援に通われているお子様が他のお子様と関わったとき にどうなるのか、という比較や試みの視点では	まずは周辺幼稚園や保育園で行われる行事などに 参加したり見学に行ってみようと考えております。連携において 子どもたちの社会が広がるよう努力したい。
2	施設の環境が今現在も整っていないこと	バリアフリー化やより過ごしやすさがまだまだ課題であると考 えています。	雨漏りによる被害についてはR7年に修復事業を行うことが できました。扉も改善し、手の挟みや寒さがなくなるよう改善 しました。今年はまだ一つ子供達にとって良い環境となるよ うに改善したいと思います。
3			